

深澤淳志企画部長
写真は代読する



祝 辞

国土交通省近畿地方整備局

局長 布村 明彦

大阪建設機械リース協同組合 創立50周年記念式典の開催を心からお慶び申し上げます。

平素から近畿地方整備局が実施しております事業につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

全国的に景気が少し回復してきており、中でも近畿地方は、設備投資の拡大にも支えられ近年、景気は上向き傾向にあります。

一方、公共事業費は依然として厳しい状況ですが、経済の基盤となる社会資本整備の推進や、既存ストックの長寿命化、さらには地震・豪雨等の自然災害に対応した「安全で安心して暮らせる近畿」を実現するため、近畿の社会資本整備をしっかりと進めていく必要があります。

建設事業を遂行する上においては、機械力は不可欠です。現場の安全確保・コストの縮減を図る上においても新たな機能を持った機械力に頼らざるを得ない状況であることは言うまでもありません。さらに、災害復旧の際にも、建設機械による迅速な対応が求められています。

大阪建設機械リース協同組合の皆様は、この50年間の歴史の中で戦後の日本の復興や高度成長時代を支え、さらには、これからの時代にふさわしい社会基盤整備を推進する上においても、これまで以上に重要な役割を担われて行くものと確信しています。

本年2月に京都大学の河田先生が座長となっていた「建設機械等による災害対処・復旧支援に関する懇談会」より、「建設機械等による災害対処・復旧支援について」と題した提言がなされました。提言の内容は、災害時のニーズとシーズのマッチングを図る体制の整備及び災害時の現場ニーズに的確に対応できる建設機械の整備等となっています。

今後、災害時に早期に対応できる体制を強化するため近畿地方整備局では、検討体制の整備をしていきたいと考えています。今後とも、大阪建設機械リース協同組合の皆様にも是非ご協力をお願いしたいと考えています。

最後になりましたが、大阪建設機械リース協同組合が、ますます発展されますようご期待いたしまして、祝辞とさせていただきます。